

## 三星工業

三星工業は自社商品の真空攪拌ミキサー「ハイ・ローターシリーズ」に新モデル3機種を追加、発売した。新たに投入した機種の内、2機種は容器サイズが2リットルと4リットルで、現行製品（1リットルと10リットルモデル）の中間的容量を担う中型量産機として開発。シリーズの特徴である自転倍速による攪拌力の強さと4カップ同時

搭載を実現した。さらに0・3リットルサイズの2カップを搭載した新機種を研究開発用向けに商品化した。現行の0・5リットル、1リットル、10リットルモデルに新機種が加わり、ラボから量産への移行をスムーズに展開できるシリーズとして拡充。容器サイズ別に真空攪拌用途「V」と大気攪拌用途「A」の2タイプを用意している。

## 横田製作所

横田製作所の脱泡・脱気装置は、液体混合時などに発生する無駄な泡や溶存気体を瞬時に取り除くことができる。装置自体に自吸・加圧機能を備え、吸い上げから攪拌、脱泡・脱気に至る多数の工程を1台で実現。飲料などの品質を保つ重要な役割を担う。羽根車を高速回転させ、液体を薄膜状にし効率よく脱泡・脱

気する仕組みで、液の均一化や粒子化といった二重の効果もある。同装置は化学薬品を使用せず機械的に処理するため安心・安全な食の生産体制に寄与する。コンパクトで既設のラインにも組み込みやすくメンテナンスも容易。同社の独自技術を採用し国内外で特許を取得している。

## 佐竹化学機械工業

佐竹化学機械工業は90年以上の間、独自技術による攪拌機を世に送り出し続けている。とくに攪拌性能に大きく影響する高性能攪拌翼の開発を重視。さらに攪拌翼のみならず装置全体にも検討を加え小さなものではピーカーで利用できる機種から、大規模プラントの1000立方メートルを超える大容量槽向けのものまで、多

様な顧客ニーズに合わせた攪拌装置を提案している。今年に入り、同社東京事務所で世界最大級の攪拌試験槽が稼働を開始。より大型の攪拌機のテストを行えるようになった。また中国上海事務所を法人化し、中国を中心としたアジア圏へのサポート体制も充実させている。

## 光陽産業

光陽産業の攪拌機「エア・ミキサー」は豊富なラインアップから使用環境に最適な機種を選択できる。小型機は軽量で扱いやすく、中型機は使いやすさと高出力を兼ね備えた万能タイプ。大型機は攪拌力に特化したスベシャルマシンで高粘度や大容量の液体でも短時間で効率よく攪拌できる。全機種エア駆動の採用により発熱を抑え、引火性のある液体の攪拌にも対応。電機系統のトラブルもない。液体の質に応じたプロペラを選択することで効率の良い攪拌を実現できる。プロペラ材質はアルミニウムとステンレス、形状はタービン型、バドル型などから選択可能。サイレンサー付きで騒音も少なく作業環境の改善にも貢献する。

## 日善エンジニアリング

日善エンジニアリングは攪拌機と昇降装置を組み合わせた製品をシリーズ化し展開。5種類をラインアップし、イーजीオーダーに対応している。同社ではメインの手動式昇降装置に加え、エアシリンダー式製品もラインアップしている。一般的な昇降装置は油圧シリンダー式が主流。ただ現場では老朽化した際の油漏れなどが問題視されており、同社はエアシリンダーを採用した。同社のエアシリンダー式製品はエアの供給がストップした際、急降下しないように安全対策が施されている。同社ホームページに各種装置の詳細を掲載している。

## 浅田鉄工

浅田鉄工の連続式混練分散装置「ミラクルKCK」は、ナノテクノロジー時代に適した超微粒子分散技術を備えている。連続稼働をはじめ高エネルギー効率や高分散化の特徴を生かし塗料やインク、トナー、ゴム、電池、樹脂、液晶など広範な分野へ応用が可能だ。混練部にはキャビティ溝を放射線状に形成した回転ブレードと固定ブレードを対向し形成。同構造によりキャビティ内を通過する材料に混練分散の3要素である「圧縮・せん断・置換」の作用を効率良く与えることができる。また、キャビティ形状の組み合わせで粉碎や分散、メカノケミカル、精密混合など多様な効果が得られる。

有力企業の  
製品&技術

＜順不同＞

# 混合・混練・攪拌機

## 日・英・中国語で学ぶ 工場管理



澤田善次郎監修 ●B5判 ●定価3150円(税込)

文化や習慣、経済レベルなどが異なる諸外国でモノづくりを効率よく進めていくためには改善活動の技法や用語の概念を正確に把握して実施しなければならない。そのための心強い味方となるのが本書。海外に生産拠点がある企業にはぜひ手元に置いて活用してもらいたい工場管理全般がわかる実務書である。

お求めは書店・弊社出版局ホームページまたはFAXでお申し込み下さい。

**日刊工業新聞社** 出版局販売・管理部  
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL(03)5644-7410  
http://pub.nikkan.co.jp/ FAX(03)5644-7400